



かがやき

西橋北小学校
学校だより

No.18

平成 23 年 9 月 16 日

避難訓練・引き渡し訓練

(文責：後藤 達人)

9月5日(月)に、避難訓練を行いました。今回は、東日本大震災から学んだことを取り入れた、新しい形での訓練といたしました。

まずは、地震発生に対する訓練で、各自机の下にもぐり、頭を保護します。揺れが収まったら、いったん運動場へ避難します。(当日は、運動場の状態が良くなかったため、外には出ませんでした。)ここまでは従来と同じ形ですが、今回は、これに津波に対する避難訓練を取り入れました。それに、初めての試みとして、橋北保育園の4、5歳児も訓練に加わりました。計画では、運動場



から5、6年生の子どもたちと3階のホールまで一緒に避難することになっていましたが、運動場の状態が不良でしたので、園児だけで上がってもらいました。



3階ホールでは、地震のときや津波のとき、どのようにして身を守るかを

学習し、自分の命は自分で守ることの大切さに気づくことができました。



さらに、家族で、地震や津波に対する対策や避難方法等について話をするように伝えました。訓練だけに終わらず、命を守る意識を植え付け、災害から身を守る術を身に付けてほしいと願っています。

この後、引き渡し訓練に入りました。



運動場が少し柔らかく、車をゆっくりと進入していただき助かりました。

今回は、「災害伝言ダイヤル」の体験が一つの目標でした。災害時には、保護者の方の安否を知り、子どもたちに対応しなければなりません。さまざまな情報の入手が緊急の課題となるはずです。

今回は、1学期末の経験が生かされ、引き渡しはとてもうまくなりました。何度もシュミレーションを繰り返しながら、大切な子どもたちの命を守るため、安全・安心な学校を目指し、工夫・改善を図っていきたいと考えています。ご協力ありがとうございました。



夏休み作品展を終えて

9月6日～9日という短い期間でしたが、校内夏休み作品展を行いました。長い夏休み期間中に、自由研究、工作、習字など、いろいろな分野で調査、体験、学習活動を進めてきた様子がよくわかります。どれも取り組んだ人の思いが伝わってくるものばかりです。

ところで、よく保護者の方から「自由研究や夏休みの宿題は、親もたいへんだ。」という声を聞くことがあります。確かにたいへんです。親には、夏休みがないからです。

でも、そこで考え方を考えてみてはいかがでしょうか。「させなければ」から「一緒にやってみよう」へと思考を変えてみましょう。夏休みのめあてでもある家族のふれあいにもかかわることです。普段はなかなか子どもとしっかりと時間をかけてかかわることは難しいものです。子どもの時間に、比較的ゆとりのある夏休みこそ、ふれあいの絶好の機会にしていきたいと思います。

親子で一緒に調べたり、体験したり、作ったり、進め方やまとめ方をアドバイスしたりすることで、子どもを支援し、豊かな感性を育むことにつながります。今年できなかった方は、来年実行してみてください。もちろん、子どもが自分ひとりの力でやりぬくための声かけや支援も大切です。

たくさんの方々に作品展を見ていただき、ありがとうございました。作品展に限らず、常に教室前の掲示板には、子どもたちのすばらしい作品が展示されますので、いつでも、都合のよいときに学校にお越しください。



運動会の全校種目について

いよいよ来週に迫ってきた運動会に向け、各学年練習に熱がこもってきました。9月14日（水）からは、全体での練習も行い、みんなの気持ちが徐々に一つになっていきそうな予感がします。

さて、例年行っています全校種目ですが、本年度は、昨年度まで行っていた綱引きに代わり、大玉を使った「それいけ！大玉」と名づけられた競技を行います。

西橋北小学校の綱引きでは、運動場の東側に陣取ったチームが勝つという伝統（？）があるそうです。子どもたちの中には、西側のチームで勝ちたいという思いを持った子もいるかもしれません。しかし今回は、そういった子どもたちの思いも知った上での種目変更といたします。

全校種目は、文字通り、全校の子どもたちの連携・連帯感を持たせるための競技です。全校児童が参加するため、さまざまな思いを持った子どもたちが、それぞれ楽しく、満足するよう、いろいろなジャンルの競技を行っていくことも必要だと考えました。

どうぞ、ご理解をいただき、当日の子どもたちへの声援をよろしくお願い申し上げます。

